

●多治見西高校ソフトボール部、日本代表として日韓交流へ！

第42回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会で初優勝した多治見西高校ソフトボール部が、今年度の「日韓ソフトボール交流」の日本代表校として選ばれました。交流を前に練習を重ねるソフトボール部キャプテンの“脅威の7割バッター”渡辺華奈さんに、西高ソフトボール部の強さの秘密を伺いました。

選抜大会の優勝、おめでとうございます。「日韓ソフトボール交流」に参加が決定しました。これはどのようなことを行いますか。

渡辺：選抜で優勝したチームメンバーで群馬県高崎市へ行き、来日した韓国チームと8月に交流試合を行います。11月には韓国まで行き、再び交流試合を行います。海外遠征は初めてなので、とても楽しみです。

西高のソフトボール部は全国屈指の強豪校ですが、強さの秘訣として「これはどこにも負けない！」という点は？

渡辺：怒られてきた量は日本一だと自負しています。（即答！）それが「日本一厳しい中で練習を積んできたのだ」という自信につながっています。

練習は、とてもキビキビしていますね。練習で大切にしていることは何ですか。

渡辺：常に本番だと思って、全員が緊張感を持って練習に臨んでいることです。



7月のインターハイでは準優勝に輝きました！



練習は大変ですか。

渡辺：練習は週7日で、土日もあります。高校から本格的にソフトボールを始めた子もいます。学校の授業との両立は大変ですが、学校生活あつての部活動なので、みんな学校生活を大切にしています。

渡辺さんが考える“ソフトボールの楽しさ”は何だと思えますか。

渡辺：最後までゲームの行方が分からないことです。最後まで頑張りますので、応援をお願いします！



多治見西高ソフト部のみなさん

—————お話の様子からも、ソフトボールに対する情熱と自信を感じました。ますますの活躍を期待しています。

●多治見市から10年ぶりの全国中学生弓道大会出場！

6月の「第21回岐阜県中学生弓道選手権（兼）全国中学生弓道大会岐阜県予選会」において、奥村蓮到さん及び水野日菜さん（いずれも陶都中学校2年）が上位入賞を果たし、このたび東京の明治神宮弓道場で行われた「第21回全国中学生弓道大会 JOC ジュニアオリンピックカップ大会」に岐阜県代表として出場しました。

多治見市スポーツ協会が主催し、多治見市弓道連盟が講師となって開催した昨年の弓道教室で初めて弓を握った2人。水野さんは自分からやってみたくと思ったそうですが、奥村さんはお母様の勧めで始めたとのこと。教室で練習を重ねるうちに、的に



奥村蓮到 選手

的にあてる難しさと、礼儀作法や姿勢の美しさに惹かれて「継続してみたい」と思うようになり、続けること

になりました。

弓道連盟の先生方から勧められて昨年10月に初出場した大会では、2人とも1本しかあたらず、悔しい思いをしたそうです。それが更なるやる気につながり、練習を重ねて今回の栄光をつかみ取りました。

全国大会に向けて、水野さんは「本番では順位関係なく、半分以上あてたいです」、奥村さんは「いつもの自分の練習の成果を発揮したいですし、みなさんにありがとうという気持ちを抱きながら試合に臨みたいです」と話していました。

多治見市弓道連盟の若尾会長は「多治見市からは10年ぶりの快挙。続ける子が少ない中で、今回の入賞は本当に嬉しいです」と感慨深げに話していました。



水野日菜 選手（手前）